



# ピーター・パン

ここは、イギリスのロンドン。  
ウエンディはいつも弟たちに、冒  
険の話を聞かせていました。

ある夜、窓から男の子が飛び込  
んで来ました。

「ぼくは、ピーター・パン。ネ  
バーランドからやって来たんだ。  
さあ、一緒に冒険に出掛けよ  
う！」

驚く子どもたちにピーターは、  
妖精ティンカー・ベルが持つ魔法  
の粉を振りかけました。すると、  
ふわりと体が浮きました。自由に  
空を飛べるようになったのです。

子どもたちはピーターと一緒に  
出発しました。

何日も飛んだ後、  
「あれがネバーランドだよ！」  
ピーターが叫びました。

「そして、あそこにいるのがフッ  
ク船長さ。ぼくをととても恨んで  
いるんだ。」

ネバーランドでは、ピーターの  
仲間たちが待っていました。ここ  
では、子どもはずっと子どものま  
まです。ウエンディたちは、毎日  
遊んで、愉快に過ごしていました。  
ところがある日、ピーターが出

掛けた隙に、ウエンディたちは  
フック船長に捕まってしまいます。  
フック船長は、ピーターをおび  
きだすために、ずっとウエンディ  
たちを狙っていたのです。

このことを知ったピーターは、  
フック船長が乗る海賊船に駆けつ  
けました。二人の戦いが始まりま  
す。激しく戦っていると、フック船  
長がバランスを崩して、  
「おっとっと！」

大きな口を開けていたワニに、  
パクリと飲み込まれてしまいました。  
助け出されたウエンディたちは  
ひと安心。

ピーターはにっこりとして、海  
賊船にティンカー・ベルの魔法の  
粉を振りかけました。すると…。  
海賊船が空に浮かびました。

「さあ、そろそろウエンディたち  
の家に帰ろう！」

ウエンディたちは、  
「さようなら、ネバーランド。ま  
た来るね！」

ウエンディたちが乗った海賊船  
は、大好きな家に向かって、飛び  
立ったのです。

(おしまい)